

NO.	テーマ等	人権教育の視点等
(2)	地域の皆さんと遊ぼう	1－(2)－ア 自尊感情の形成 1－(2)－イ 自分と社会についての認識の啓培
	【活動対象領域等】 健康、人間関係、環境、 言葉、表現	【対象学年】 幼児

1 ねらい

- (1) 地域の皆さんとふれあい、愛されていることや見守られていることに気づく。
- (2) ふれあい遊びを楽しみ、ふれあう心地よさを知る。
- (3) 世代間交流や異年齢交流を通して、自分のよさや友だちのよさに気づく。

2 指導にあたって

- (1) 近年、地域関係の希薄化により、幼稚園・こども園・保育所においては、さまざまな人とのかかわりを経験する機会が求められている。

地域の皆さんとのふれあいを通して、見守られていることや必要とされていること、また、さまざまな方が地域でともに暮らしていることに気づく機会とする。

ふれあい遊びや得意なことを披露したり見たりすることで、地域の皆さんとかかわる楽しさや喜びを味わい、あたたかさを感じ、地域とのつながりを深める。

- (2) 家族形態の多様化が進む一方、特定の人とのかかわりに偏る傾向もあり、新たな出会いの場で緊張したり自分の思いを表現しにくかったりする幼児が増えている。ふれあうことに抵抗感を抱く幼児もいることなども考慮し、指導する必要がある。

幼児たちが、地域の皆さんと積極的にかかわることができるように、ふれあい遊びや共通の遊びを取り入れるなど工夫する。

さまざまな人とのかかわりに期待をもち、楽しむことができるように言葉かけをしたり、遊びの楽しさを共感したりするなどの支援をする。

- (3) 世代間交流では、参加してくださる方の負担とならないよう、開催する教室や環境等、配慮が必要である。

交流する中で、どうすれば皆が心地よく遊ぶことができるかなど話し合うことで、相手への思いやりの心を育てる機会とする。

- (4) 幼稚園・こども園・保育所の周囲を散歩する際に地域の学校園所や店舗等を知ること、地域の皆さんへの関心や興味をもつことにつながり、見守られていることにも気づくことができる。継続した交流を計画することで、施設外で出会った時にも声を掛け合うなど、地域の皆さんとの交流や安全な環境づくりにつなげる。

3 指導計画（全1時間）

- (1) 自己紹介をする
- (2) ふれあい遊びをする
- (3) 得意なことを披露する
- (4) 得意なことを見せていただく

4 展開例

地域の皆さんと遊ぼう保育指導案

- (1) 本時の目標
地域の皆さんとのふれあい、見守られている温かさやふれあう心地よさを味わう。
互いのよさに気づき、認め合うことを喜ぶ機会とする。
- (2) 準備物
折り紙、こま、竹馬、縄、パイプいす、ワイヤレスマイク等
- (3) 展開

活 動 内 容	◎環境の構成 ☆教師の援助	教師の読み取り
1 始まりの会をする。 ・挨拶をする ・自己紹介をする ・歌を歌う	◎地域の皆さんが無理なく参加できるように、パイプいす等を準備しておく。 ☆大きな声で話をするができるように、日々の生活の中で、場所に応じた声の大きさを知らせておく。 ☆自信をもって話をするができるように日々できたことなど小さなことでも認めたり励ましたりしながら自信につなげる。	・自信をもって話したり歌ったりしている。
地域の皆さんと一緒に遊ぼう。 自己紹介をしっかりとすることができたね。		
2 ふれあい遊びをする。 ・円になる等移動する ・手をつなぐ ・歌やリズムに合わせて一緒に体を動かす ♪肩たたき ♪昔遊び等	◎座ったままでもふれあい遊びができるように、子どもたち自身が移動し、地域の皆さんに負担がかからないよう配慮する。 ☆ふれあう心地よさや喜びを共感する。 ◎誰でも簡単に遊ぶことができるような遊びを準備しておく。 ◎どうしたら地域の皆さんの体の負担が軽くなるのか考えられるように、子どもたちの気づきから話し合い活動を事前にしておく。	・地域の皆さんとふれあうことを楽しんでいる。
3 得意なことを披露する。 ・歌を歌う ・竹馬や縄跳びをする ・こま回しをする等	◎披露する広い場所を確保しておく。 ☆大勢の人の前で披露することに対して、期待をもって参加できるよう配慮する。 ☆得意なことを披露している園児に対し、教師も拍手や温かいまなざし、笑顔を向け、園児の喜びに共感する。	・自信をもって得意なことを披露できている。 ・披露した満足感を得ている。

	☆地域の皆さんにもこま回しなど得意なことを披露していただき、園児が抱く憧れの気持ちやともに遊ぶ楽しさに共感する。	
4 地域の皆さんと一緒に遊ぼう。 ・折り紙 ・こま回し ・かるた等	◎自分のしたい遊びが見つけられるように、各コーナーを準備しておく。 ☆折り紙など、普段挑戦できない難しい折り方などもゆったりとした雰囲気の中で教えてもらい、取り組もうとする姿を認める。	・一緒に遊ぶ楽しさを味わっている。
5 終わりの会をする。 ・交流会の振り返りをする ・次回の交流会に期待をもつ ・季節の歌を歌う ・挨拶をする	☆楽しかったことや気がついたことを問いかけ、次の交流会への期待がもてるよう、声をかける。 ☆皆が知っている童謡や季節の歌を歌い、交流会の締めくくりをする。 ☆ふれあう心地よさを感じることができるよう、挨拶の際、互いの手を合わせてタッチするなどスキンシップをとる。	
地域の皆さんと一緒に遊んで楽しかったね。 また一緒に遊ぼう。		
6 振り返りとまとめをする。	☆交流会を通して、気がついたことや感じたことを出し合い、次の交流会がよりよい会となるように話し合いをする。	・自分のよさや友だちのよさに気づいている。

Point

- ・スキンシップをとることは、互いの緊張をほぐすことにもつながる。最後にスキンシップを取り入れることで、次回もまた一緒に遊びたいという気持ちにつながる。
- ・初対面の方に対して不安を抱く園児には、配慮が必要である。